

第5回 人類学関連学会協議会合同シンポジウム



加 齢

—老いの生態をめぐって—

日 時：2010年10月1日（金）
13：00～17：00（開場12：10）

会 場：東北歴史博物館 講堂（宮城県多賀城市）

共 催：日本民俗学会・東北歴史博物館

協 賛：東北民俗の会

問い合わせ先：東北歴史博物館 情報サービス班
電話 022-368-0106
(URL) <http://www.thm.pref.miyagi.jp/>

日本民俗学会事務局
電話03-5815-2265
(URL) <http://www.soc.nii.ac.jp/fsj/>

第5回 人類学関連学会協議会合同シンポジウム

テーマ 「加齢—老いの生態をめぐって—」

趣旨

人間＝ヒトの年齢には、静態的な側面と動態的な側面とがある。静態的な側面は、たとえば何歳といえは成長段階を示すとともその年齢に伴った一定のイメージを喚起することになる。それに対して、動態的な側面はAging/Ageing（英）といわれるように、年をとる現象で「加齢」の問題である。この加齢は、成長過程を示すととも時間の観念をも含んでいる。高齢化社会を迎えて、加齢がクローズアップされてきたのは、人間＝ヒトにおける成長・発育よりも老化に関わる「老い」の動態的な側面であったといえる。

「加齢」は誕生と共に始まり最終的には死で完結する。老いは、加齢に伴って起こる生体の変化であるために、加齢は老いとほぼ同義語で用いられマイナスイメージで認識される場合が多い。しかし、日本の伝統社会における老いの事例を見てゆくと、老いを「追い」すなわち追加するという民俗が認められるのである。姥捨て伝説は老人の知恵が重要なモチーフであり、近畿地方の神社祭祀としての宮座では長老が祭祀の重要な役割を担う例もみられる。また沖縄の97歳の長寿者を祝うカジマヤー祝いでは、高齢者を抱える社会や家族が人々のネットワークを再確認する機会ともなっている。このように老人の生命力や社会的位置付けから見ると、加齢＝老いは決してマイナスイメージ一色ではないことが分かる。

本シンポジウムでは、人類学関連学会協議会に参加する各学会から推薦されたパネリストが、それぞれの学問領域から「加齢」についてアプローチし、新たな地平を見出すべく学際的領域からの問い直しを試みる。

パネリスト(発表順・敬称略)

鈴木隆雄（国立長寿医療研究センター研究所：日本人類学会）

板橋春夫（國學院大學：日本民俗学会）

高畑由紀夫（関西学院大学：日本霊長類学会）

井上芳光（大阪国際大学：日本生理人類学会）

佐野（藤田）眞理子（広島大学大学院：日本文化人類学会）

タイムスケジュール

- 13:00~13:10 開会のあいさつ 篠原 徹 (日本民俗学会会長)
- 13:10~13:25 司 会 朝岡 康二 (日本民俗学会理事)
- 趣旨説明 谷口 貢 (日本民俗学会理事)
- 13:25~13:50 「健康の面からみた(超)高齢社会」
- 鈴木 隆雄 (日本人類学会)
- 13:50~14:15 「長寿民俗にみる老人観」
- 板橋 春夫 (日本民俗学会)
- 14:15~14:40 「サルに“老い”はあるのか」
- 高畑 由紀夫 (日本霊長類学会)
- 14:40~14:50 休憩
- 14:50~15:15 「発汗機能の老化：全身的協働の視点から」
- 井上 芳光 (日本生理人類学会)
- 15:15~15:40 「文化概念としての老い：似て非なるもの」
- 佐野(藤田) 眞理子 (日本文化人類学会)
- 15:40~15:55 休憩
- 15:55~16:55 討 論
- 16:55~17:00 閉会のあいさつ (東北歴史博物館館長)
-

.....東北歴史博物館の展示 好評開催中.....



特別史跡多賀城跡調査50周年記念
特別展「多賀城・大宰府と古代の都」

平成22年10月24日（日）まで



テーマ展示室1
「カマ神」



テーマ展示室2
「アイヌ民族資料および刀装具」

テーマ展示室1・2は平成22年10月3日（日）まで



東北歴史博物館

TOHOKU HISTORY MUSEUM

〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1
TEL022-368-0106 FAX022-368-0103
<http://www.thm.pref.miyagi.jp/>

交通案内

- JR東北本線/国府多賀城駅となり
JR仙石線/多賀城駅下車徒歩25分
- お車をご利用の場合
仙台東部道路/仙台港北ICから10分
仙台北部道路/利府しらかし台ICから15分
東北自動車道/泉ICから30分
※無料駐車場（191台・大型バス10台）



表紙写真：下長磯の式三番（群馬県前橋市下長磯町 稲荷神社）
（撮影：金井竹徳）